

記入例

様式第1号(その1)(第8条関係)

平成29年6月6日

公益財団法人埼玉県国際交流協会理事長 様

団体所在地 埼玉県〇〇〇市△△△-×××

団体名 特定非営利活動法人 埼玉国際協力の会 (SKK)

代表者氏名 代表 埼玉 太郎 印

連絡先 住所 〒〇〇〇-〇〇〇〇 埼玉県△△

代表者印を押印してください。

(注)ここに例として記載した事例が、必ず採択されるわけではありません。

氏名 国際 花子

TEL 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

FAX 〇〇〇-〇〇〇

E-mail abc@def.jp

様式第2号(その3)経費明細書の「国際協力基金申請額B」の数字を記入してください。

各欄に記入する内容が多い場合は、2ページ以上になっても構いません。

平成28年度彩の国さいたま国際協力基金助成金交付申請書

助成希望額	金 418,000 円
事業名	〇〇国△△州における女性就業支援事業
実施予定期間	平成29年7月1日 ~ 平成29年11月30日
事業区分 (いずれかに○)	県内(協力支援、食料・物資等支援、その他) 海外(医療、保健衛生、環境保全、 <u>教育</u> 、人権保護、その他)
事業概要	目的: 〇〇国には内戦で夫が戦死した女性が大勢いるが、就業できず経済的に困窮するケースが多い。そこで、女性の就業支援を行うことで、経済的に自立した生活を送ることができるようにする。 内容: <del>女性を対象とした縫製技術の職業訓練を実施することで、女性が専門技術を身につけ、就業できるよう支援する。</del> 受益者の人数: 40人
新規・継続の区分 (どちらかに○)	新規 ・ <u>継続</u> (2年目)
過去2年間の助成事業の実績	1年目: 縫製技術の職業訓練を実施し、訓練生10名が現地工場に採用された。 2年目: 今年度実施予定
他団体からの助成	<u>有</u> (名称: 〇〇財団国際協力補助金) ・ 無

この事業を通じて、直接の受益を受ける人数を記入してください。